

## 少しの意識

矢掛町立矢掛中学校 3年 柴口 志子



「あー！忘れてた。」

先生に一枚のメモを渡され、ついそう言ってしまった。

私の学校では毎朝、先生が駐輪場をチェックしている。自転車の鍵がかけられているかを確認するためだ。鍵をかけ忘れた生徒には大抵、「カギ」と書かれたメモを先生から渡され、鍵を職員室まで取りに行かなくてはいけない。

私はその日、鍵をかけ忘れてしまっていた。正直、学校の中なんだから盗られるわけないじゃんとか、職員室まで鍵を取りに行くの面倒なんだよなあとか、そんな気持ちだ。

先生たちは、私たちが中学へ入学した頃から「自転車を盗まれたりしないように鍵をかけることを習慣づけてください。」と言っていた。でも、そんなこと、盗む方が悪いのでは、と思ったのは私だけだろうか。

家族にも悪いのは盗む方だ、という話をすると意外な言葉を返された。

「盗むのは悪いことだけど、少しの意識、鍵をかけることで防げたのも何件もあるよ。鍵をかけていなかった人にも責任があるとは思わない？」その言葉を聞き、納得したと同時に少しドキッとした。

私は、「鍵をかける」というほんとうに小さなことでもなにか理由をつけ、面倒になり、やらないことがある。友達の家遊びに行ったときも、ここは田舎だから大丈夫、土日の部活動に行ったときも今日は先生が見るわけじゃないし……といった感じだ。自分で自分のものを管理する責任がとれているか、と考えたとき私はとれていないと感じた。

そして、インターネットで自転車の盗難について調べてみると、窃盗の中でも、さらに犯罪の中でも、例年トップの件数であることを知った。約18万件。1日に約500台の自転車が盗難に遭っている、ということになる。さらに調べていくと、やはり高価な自転車がよく盗難被害に遭っているのか、と思えば盗難被害は価格によらず発生するらしい。

調べてみてまず思ったのは、人事ではないということ。もし、自転車の鍵をかけていなかったら、1日に盗難に遭う「500台」にいつ自分の自転車が入るか分からない。都会の方が件数こそ多くても田舎だから犯罪が起こらないということもない。逆に田舎で人の目が届きにくいから起きることもあるかもしれない。注意しないとイケない。

注意する、と言っても私たちにできることは、「少しの意識」で鍵をかけること、人事だと思わず自分に責任をもって行動することくらいだ。でも、そん

な小さなことでもみんなが意識すれば犯罪は減ると思う。

日本には今、さまざまな問題がある。その中の1つが犯罪。世界的に見ると日本は安心できるし、安全かもしれない。犯罪の件数は少ないかもしれない。でも、より暮らしやすく、みんなが気持ちよく過ごせる社会にするためには一人一人の「少しの意識」が必要だと思う。

ただ単に、手をあげ、盗まれたというだけではなく犯罪にまきこまれたときは、それを防げるように行動していたか、踏みとどまり防犯をすることでも犯罪は減らしていけると思う。

「ただいまー。」荷物を持って……あ！鍵。よし、完璧。

「少しの意識」できている。